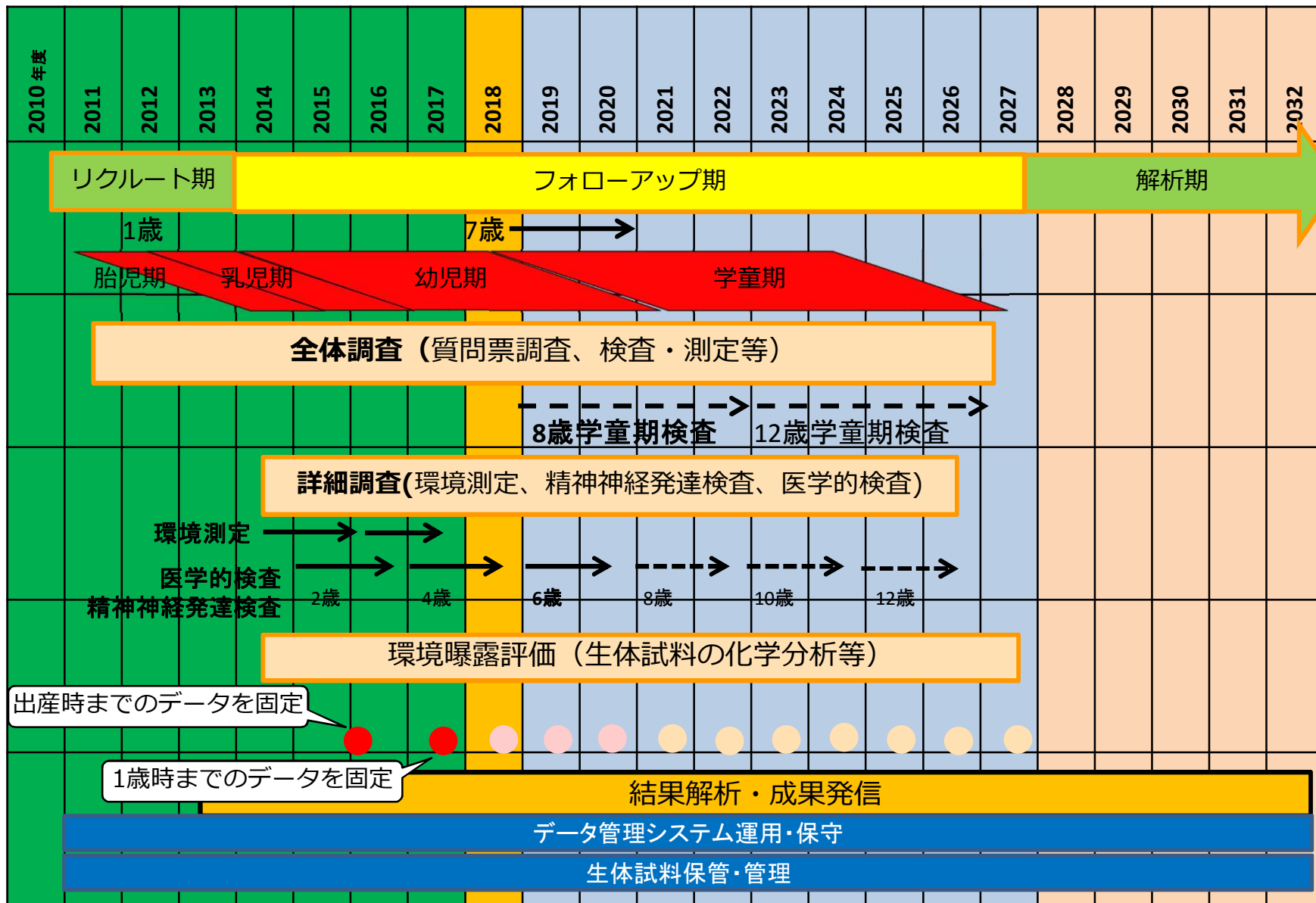


# 研究の進捗について

2019年3月6日

国立研究開発法人国立環境研究所  
エコチル調査コアセンター

# ロードマップ



# 全体調査質問票調査の進捗

生後6か月以降の質問票調査を、子どもの成長に合わせて順次実施中。

- 出生後6カ月、1歳、1歳半、2歳、2歳半、3歳、3歳半、及び4歳質問票調査については発送完了。
- 出生後4歳半質問票は約9万4千名に発送
- 出生後5歳質問票は約7万8千名に発送
- 出生後5歳半質問票は約6万1千名に発送
- 出生後6歳質問票は約4万3千名に発送
- 出生後7歳質問票は約1万5千名に発送
- 小学1年生質問票はH30年秋に約1万5千名に一斉発送

(平成31年1月末現在)

# 詳細調査の進捗

- 詳細調査のリクルートを完了し、環境測定（H26.11～）、医学的検査及び精神神経発達検査（H27.4～）を、実施中。

## 【詳細調査の概要】

- 対象者は2013年4月以降に出生した全体調査の参加者のうち全国で約5,000人。
- 調査内容
  - 環境測定（室内のハウスダスト、VOCs、アルデヒド・酸性ガス、PM2.5）
  - 精神神経発達検査（新版K式発達検査）
  - 医学的検査（身体計測、バイタルサイン、身体所見、血液検査、尿検査）
- 調査時期
  - 環境測定は1.5～2歳と3～4歳の2回
  - 精神神経発達検査、医学的検査は2歳、4歳の2回
- 結果報告を逐次実施
- **6歳調査（医学的検査）を平成31年度4月から開始予定**  
8歳以降の調査については、今後さらに検討を行う



採血の実施イメージ

## 【詳細調査 実施状況】

- 平成26年10月～ 詳細調査リクルート開始
- 11月～ 1.5歳時環境測定（完了）
- 平成27年4月～ 2歳時医学的検査、精神神経発達検査（完了）
- 平成28年4月～ 3歳時環境測定（完了）
- 平成29年4月～ 4歳時医学的検査、精神神経発達検査（**ほぼ完了**）



新版K式発達検査の様子（2歳）

# 学童期検査に向けての準備

来年度から開始予定の学童期検査(小学2年生)について、準備を進めている。

- コアセンターとメディカルサポートセンターが中心となり、マニュアルを作成するとともに、説明会を実施した。
- コアセンターにおいて、学童期検査実施のための、ID発行、案内書発送、データ登録等、必要なデータ管理システムの改修を行った。また、参加者向け検査予約システムの開発を進めた。
- コアセンターにおいて、検査に必要な器材の調達を進めた。
- ユニットセンターにおいては、検査会場、スタッフの確保・配置計画策定等を進めている。また、ユニットセンター間での情報交換会を開催した。今後も、情報交換会やリスク管理のための研修会を開催予定である。

## 全国データを用いた研究成果の発信等

- 第1次一部固定データ(2011年末までの出産時)、第2次一部固定データ(2013年9月までの出産時)、全固定データ(全出産時)、並びに第1次一部固定データ(母親血中金属類)を用い、運営委員会委員長(学術専門委員会に付議)による事前審査、環境省への届出を経て、平成31年1月末までに計45題が学術誌に掲載された。
- このうち3題が中心仮説に関わる論文である。その後さらに、中心仮説に関わる論文として、2月15日に「妊婦の血中水銀及びセレン濃度と児の出生時体格との関連」に関する論文、2月21日に「妊婦の血中マンガン濃度と児の出生時体格の関連」に関する論文について報道発表を行った。